

## 5G通信

Vol.14



いま話題の次世代通信「5G」に関する  
とっておきの情報をご紹介します

## 世界デジタルサミット2018開催

6月4～5日に東京で開催された「世界デジタルサミット2018」。国内外のデジタル分野のトップが技術革新について講演・議論を行い、大盛況のうちに幕を閉じました。

## 技術革新の基盤となる5G

- 同サミットは、総務省と日本経済新聞社が主催する「テクノロジー」をテーマとしたカンファレンスです。5G（第5世代移動通信システム）関連分野においても、国内外の企業経営者および有識者がスピーチを行い、5Gは「技術革新を促進させる重要な通信インフラ」であり「世界共通のテーマ」であることが再認識されました。

## 5GとIoTが生み出す新たな可能性



5Gに関するパネルディスカッションでは  
2つのテーマがポイントとなりました！

 新興国における5G導入

- 4Gが先進国から新興国へと段階的に普及したように、5Gの普及は当初先進国が牽引し、その後新興国に導入・普及するものとみられています。
- 新興国の通信インフラは全体的に未だ脆弱であるものの、最近ではインド・ベトナム・インドネシアなど一部の新興国が、予想以上に早いペースで5Gの実用化に向け準備を進めているとされています。
- こうした動きの背景には、「各国の政府が5Gを国の重要課題として推進していること」、「通信事業者が5G商用化に対して前向きな姿勢を見せていること」が挙げられます。
- 依然として新興国における通信インフラの成長余地は大きく、「IoT(モノのインターネット)社会の基盤である5Gの早期導入が国益に適う」といった各国政府と通信事業者の共通認識が、今後の新興国における5G導入を後押しすると考えられます。


 IoT社会とセキュリティ

- 5Gの普及により、あらゆるモノがインターネットに繋がるIoT社会が本格的に到来するとされています。今回のサミットでは、IoT社会において暮らしの利便性は大幅に向上する一方、インターネットが生活の隅々まで浸透することから、「サイバーセキュリティの重要性」が議論されました。



- 2018年5月に欧州で「一般データ保護規則(GDPR)」が施行されたことから、サイバーセキュリティに対する世の中の関心が高まっているといえます。5Gの普及においても「データの安全保障が重要」であることが強調され、IoT社会の実現に向けサイバーセキュリティ関連ビジネスの商機拡大が期待されます。

※写真はイメージ図です。



### 【 ご留意事項 】

- 当資料はニューバーガー・バーマンの情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。